

五月 花盛りです。藤の花など！

平等院



万葉植物園



京都では遅咲きの桜も終わりましたが、まだまだ花盛りです。そんなGW 最中の5月3日、ひらかたの桑本さんも参加でしたが8名と小じんまりとした316回きんきサロン歌会でした。

今月は藤の話題です。京都の藤の三大名所は平等院、仙洞御所、城南宮だとされていますが、玉虫さんが平等院と奈良の万葉植物園の藤を見に行ってきましたと冒頭の写真いただきましたので、皆さんにもおすそ分けします。なんだか香りまで漂ってきそうですね。万葉植物園の藤は、春日大社の“砂ずりの藤”の子孫とか、その樹は、春日大社の回廊内に、推定樹齢800年で砂に付くぐらい花房が長く延びるとされる事から『砂ずりの藤』と呼ばれているそうです。

さて、歌会結果です。一席は2首。小倉はじめさん。遠い昔のほのかな初恋の思い出か？ 灯台という場所設定がいいと票を集めました。玉虫さん。何といっても表現スキルがすごい！ 飛火野の出だしもそうだし、はぐれ鹿、締め“風はみどり”、完璧と共感多しでした。二席の順ちゃん、スベアを持っていない、たった一つのこの命をリズムよく表現されて、3回目のご出席ですが、しっかりとした歌作り力を持っておられて、今後も目が離せません。注目です。三席西村さん。仕事で、1か月の新人研修を毎年受け入れているとか。今年もやってきて、受け入れは大変で、手間もかかるし気も使うけど、花を育てるようなとの気持ちも大事かなと、この歌になったと作者。次点は3首。母の介護で相変わらず多忙、急遽津山帰郷のHIKARIKOさん、久々出席のほたるいかさださん、五行目の表現がいいと評価集まった。平村さん、嬉しい気持ちが良く伝わってくると皆さん共感でした。

(はじめ記)

【316回きんきサロン歌会結果】

1

桜楽まつりで
手拍子うって
足ならず
太鼓に合わせ
車いすごと踊る母

HIKARIKO 8点 同次席

2

春の山菜
「ごごみ」
天ぷらジュージュー
うまい！

未だ地球には何かがある

ほたるいかさだ 8点 同次席

3

今にして
うぶ声一つで
生まれきて
予備を持たずが
心地良い

順ちゃん 10点 二席

4

岬の灯台
坂を駆けてくる
君は輝いていた
今は
静かに風だけ

小倉はじめ 12点 同一席

5

花を育てるように
人も育てたい
咲き誇れと
願いをこめて
新人君と一ヶ月

西村康則 9点 三席

6

飛火野からの
はぐれ鹿か
静かな木陰で
憩っている
風はみどり色

玉 虫 12点 同一席

7

前年の軒下に
「つばめ」が来る
空を横切り
頭の上で
太い線を描く

黒田節子 *

8

五月晴れ
初夏のための
ドローイングを
飛行機が
うすく描いてゆく

いぶやん *

9

生老病死
わかっているも
レアケースに
なぜ? と天を仰ぐ
答えは知っているというのに

桑本明枝 *

10

神社まで
往復一万歩
今日は
草餅
買ったかったよ

平村幸子 8点 同次席

*印 5点以下 (未公表)

■ (参加者9名)

小倉はじめ・黒田節子・桑本明枝・順ちゃん・
玉虫・西村康則・平村幸子・ほたるいかさだ

■ (歌のみ) いぶやん・HIKARIKO

■ 6 月歌会

6月1日(日) 13時～ ウイングス京都にて

■ 七夕歌会案内



■日時 2025年7月6日(日)
9:30～17:00

■場所 (A:見 学) 永観堂・南禅寺
(B:ランチ) 料亭「八千代」
(C:歌 会) 京都市国際交流会館

■費用 (A:見 学) 600円永観堂拝観料
(B:ランチ) 3,850円(飲み物別)
(C:歌 会) 1,500円

■行程 09:30 京都駅正面タクシー乗り場前
10:00 第1部 永観堂・南禅寺
青もみじ見学
12:00 第2部 昼食(ここから参加可)
13:30 第3部 歌会(ここから参加可)
17:00 歌会終了、解散

■申込 5月30日(金)締切 伊吹代表迄
参加形態申告(全て、Bから、Cから)
事前採点制とします。申込と併せて歌
一首。会場都合で先着順で締切します。
お早目の申込をお願いします。
メール: ibuki@mxr.mesh.ne.jp

■ 花の話題をもう一つ



西村さんから滋賀県日野町にある「ブルーメの丘」家族で行ってきたのでとネモフィラ写真いただきました。春は10万本のチューリップ、ネモフィラ、夏はヒマワリ、秋はコスモスといい所です。